

一般社団法人 Omoshiro
ヤングケアラーの支援～
～こどもたちの声を聴くとは～

令和4年10月5日(水)
10:00～11:30 青少年理解の基礎研修

講師紹介



勝呂 ちひろ (すくろ ちひろ)
一般社団法人Omoshiro 代表理事
精神保健福祉士、神奈川県主任相談支援専門員
横浜市自立支援協議会本体会議委員

精神疾患を抱えるお母さん・お父さんとそこで暮らすこどもたちに特化したケアマネ事業所を2021年横浜に立ち上げる。
親への現実的な家事軽減等のサポート調整だけでなく、こどもたちの「こどもらしい時間」を大切に育むための居場所も開設。「親子まるっと伴走支援」をモットーに活動を行う。




青木 大三 (あおき ひろみ)
一般社団法人Omoshiro 理事
自立訓練事業所エンラボカレッジ広報、特定非営利法人roots 理事
就労移行支援事業所などのアドバイザー

教育、アパレル業界を経て、福祉業界へ。2015年就労移行支援事業所立ち上げ、2016年には関東を中心とした「就労支援ネットワーク」を立ち上げ、福祉・医療・企業の連携作りを行う。2021年一般社団法人Omoshiroを立ち上げ、親子まるっと伴走支援に関わりながら研修・講演などの啓発活動を行う。



本日の研修の流れ

- 1 Omoshiro誕生のお話
- 2 「親子まるっと伴走支援」紹介
- 4 こどもの権利条約とヤングケアラー
- 5 Omoshiroワーク研修～気づきとシェアの練習～





一般社団法人 Omoshiro 2

ある、女の子との出会い。

わたしたちが出会った、とある女の子の話。

部屋には荷物が床一面にあふれ、彼女は毎朝そこからマスクや教科書を探して登校します。
母親はうつ症状がひどく、薬が合わず昼夜逆転。彼女が登校する時にはまだ寝ていることも。
彼女は、私に話しました。

「何が困っているかわからない」
と…。

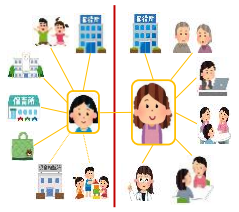



一般社団法人 Omoshiro 3


現状の整理～ある女の子との出会いから～

問題点

- ・ 困り感を相談するという行為からお母さんが、離れてしまふ…親子の孤立
- ・ 親子の状況、これまでの背景、困っている事の情報収集が行われていない…誰もその親子の暮らしを知らない
- ・ 親と子どもの窓口・制度が異なる…同じ話を何度もしないといけない



現状における支援の構図 (As-is)



一般社団法人 Omoshiro 4

現状の整理 → 親子まるっと伴走支援の誕生

- ・ 出会いからサポート開始まで、ワンストップで実施する。
- ・ こどもたちの成長スピードに合わせたサポート体制の微調整を行う。
- ・ つながりつづける「伴走支援」



理想とする支援の構図 (To-be)



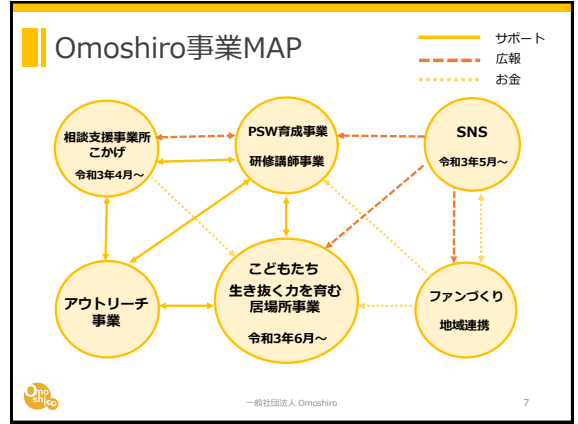
一般社団法人 Omoshiro 5

Omoshiro事業紹介

- 計画相談支援
アウトリーチ支援**
 - 親と子それぞれの声を真ん中にしたサポート体制づくりをします。
 - 子どもたちの成長スピードに合わせた支援計画を作成します。
- PSWチーム結成**
 - 圧倒的な気づきの中で「見ようとして見る」PSWを育成します。
 - ケース援助の有り様をより具体化する実践型研修を提供します。
- 子どもの居場所事業**
 - 「伝える」「伝わる」練習を通じて自分で自分の状況や気持ちを表
現・説明できる「生き抜く力」を育みます。
- その他事業**
 - 地域・関係機関・団体を巻き込む法人ビジョンへのファンづくり
 - 「自分ごと」として一緒に活動してくれる仲間づくり

4つの事業がつながり合いながら
展開することで、親子への出会い〜サポートまでを届ける支援を展開していきます。

Omoshiro 一般社団法人 Omoshiro 6



「子どもの権利条約」とヤングケアラー・①

子どもの権利条約は、1989年の国連総会において採択され、1990年に発効した。日本は1994年に批准。

子どもの権利条約 4つの柱

1 生きる権利 	2 育つ権利
3 守られる権利 	4 参加する権利

©日本ユニセフ協会 イラスト：Hiromi Ushijima

Omoshiro 一般社団法人 Omoshiro 8

「子どもの権利条約」とヤングケアラー・②

ヤングケアラーの概念

家族にケアを要する人がいる場合に…
大人が担うようなケア、責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子ども。

Omoshiro 一般社団法人 Omoshiro 9

「子どもの権利条約」とヤングケアラー・③

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

Omoshiro 一般社団法人 Omoshiro 10

「子どもの権利条約」とヤングケアラー・④

横浜市鶴見区ヤングケアラー実態調査【教職員調査、R4年3月実施】

Q:ヤングケアラーと思われる、またはそれに近い家庭環境の生徒に気付いたことがありますか

「ある」と答えたのは、
小学校171名(41.8%)
中学校103名(61.7%)

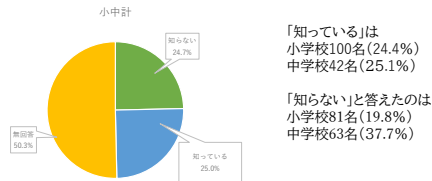
「ない」と答えたのは、
小学校155名(37.9%)
中学校37名(22.2%)

Omoshiro 一般社団法人 Omoshiro 11

「子どもの権利条約」とヤングケアラー・⑤

横浜市鶴見区ヤングケアラー実態調査【教職員調査】

Q:その児童生徒が、ケアすることになった理由を知っていますか



一般社団法人 Omshiro

12

ヤングケアラーが直面していること

遊びや教育の
機会を逃す

孤立や孤独に
悩む



大人になる
準備の機会
を逃す

疲れやストレス
を抱える



一般社団法人 Omshiro

13

「子どもの権利条約」とヤングケアラーまとめ

- 1, 「家族をお手伝いしててえらいね。」でいい？
- 2, こどもの権利。大人が本気で守ろうとしている？

こどもの声にならない声。聞こうとして？



一般社団法人 Omshiro

14

Omshiro「こどもの声を聴く」ワーク研修を少しだけ…

- ◆目的
気づく⇒考える・感じる⇒シェアする
- ◆シェアの効果と意味を体感する
「共感」「疑問」「驚き」「アイディア」



一般社団法人 Omshiro

15

ある、女の子Aちゃんのお話・①



Aちゃん
小学校6年生

- お母さんとAちゃんは、2人暮らし
- お母さんは、統合失調症で内科疾患もあります。
- お母さんが、コロナになることを心配しています。
- 週2日のヘルパーさん（掃除）、週1日の訪問看護さんが入っています。
- 学校の先生もAちゃんを気にかけてくれました



一般社団法人 Omshiro

16

ある、女の子Aちゃんのお話・②



「本当は修学旅行に行きたかった…。」



一般社団法人 Omshiro

17

気づきの「シェア」の時間です。

- 1, この話を聞いて、「気づいたこと」「感じたこと」を出し合ってみましょう。
- 2, 自分だったらどう声かけをするかアイデアを考えてみましょう。



Omshiroワーク研修のPOINT！！

- 見ようとして見ること。知ろうとすること。
- 情報⇒最大限に想像すること。
- 言葉を熟考し、丁寧に説明・提案をすること。



まとめ

誰しものがケアを担う時代。ケアは「つながり」を生む。

- 圧倒的な気づきは、親子へのサポートにつながる。
- 1つのケースのつながりが、次のケースにつながる。

自分のケアと自分の大事な人のケア。
大人も子ども一緒になって大事に考えられる社会を目指す。



ご清聴
ありがとう
ございました。

